



上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

新年も「ともに学び ともに生きる」ために 校長 佐伯 孝司

ゆく河の流れは絶えずして しかも もとの水にあらず

新しい年を迎え、1年間の児童の成長ぶりを振り返ると、驚きと感動がいっぱいです。日々同じようなことを繰り返しているようでも、その中に絶えず変容している児童の姿が確かにあります。この年末年始に、1年間のお子さんの成長ぶりに感心したり、お子さんとこれからの目標を立てたりした方もいらっしゃると思います。私たち教職員一同も気持ちを新たに、児童が日々の学校生活で楽しく充実した学びを積み重ねていくことができるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度の教育課程には、「ともに学び ともに生きる」の教育目標の具現化に向けて、4つのキーワードを記載しています。本年のスタートにあたり、これらを再確認して、児童の成長に資する教育活動づくりを進めてまいります。

①言葉の力

自分の考えを表してみる、多様な相手と話し合ってみる…学び合いに、言葉は重要です。言葉の学習が様々な学習の支えになっていることを踏まえ、国語科をはじめ各教科で学んだことが他の教科や探究・シブヤ未来科でも生かせるように、学習内容のつながりを考えて指導しています。優しい言葉、心に響く言葉について考えたり、生活に生かしたりすることも大切にします。

②学びの自覚

やってみたいというワクワク感、相手や目的を明確にした活動づくりを大切にします。それが、学ぶ価値の自覚につながるが多いと考えています。また、その成果とともに、成果に至る過程における自己の変容を自覚することも、大切にしています。その自覚を深めるほど、友達との関わり、多様な方々との交流、多様な考え方との出会いの重要性を自覚し、生かすことができます。

③ふれあい

多様な他者との交流により、活動の楽しさとともに、学習の深化、人権意識や豊かな心の醸成を図ります。異学年交流、地域・保護者の皆様との学習活動、区役所や企業の方と連携した学習活動などを積極的に設定し、児童が相手意識や目的意識を明確にして取り組むことができるようにします。

④心と体への関心

友達と一緒に運動の楽しさを味わうことは、望ましい運動・生活習慣づくりに役立ちます。悩んだ時、困った時に、相談するなどの行動をとることができるよう支援したり、環境をつくったりしていきます。

月日は百代の過客にして 行きかふ年もまた旅人なり

過ぎ行く時の一コマ一コマを大切に、過ぎ行く時の流れを受け止め前向きに進むことができるよう努めてまいりたいと思います。



「渋谷区探究フェス」で発表する6年生
スライドや原稿作り、グラフや表を用いての整理、制作活動等、各教科等で学んだことを総合的に活用しています。



上原中、富谷小の先生にプレゼンテーション
いろいろな方に訴えたり、助言をもらったり。よりよいものをつくろうとする意欲が旺盛です。

言葉で異学年交流
3年生から2年生に本の紹介。学習成果を役立ててもらう場の設定で相手・目的意識が明確に。



楽しんでもらおうと試行錯誤する1年生
上原小シブヤ未来科発表会で、来場者に楽しんでもらうにはどうしたらよいか、いろいろと話し合ったり、作ってみました。



長縄にチャレンジ 全学級でスローガンを決めてチャレンジ。休み時間にもすすんで一緒に遊ぶ姿が見られました。